全体	No. 4 3
個別	09-01

平成27年度 「水 道 局 (部)] 目標の成果

課 名 水 道 課

No. 目 水道事業及び簡易水道事業の経営統合

1. 組織 目標

【内容】

「対馬市水道ビジョン」の計画に基づき、平成28年度末に水道事業及び簡易水道事業を経営統合することとし、今年度は「固定資産及び水道資産の把握」、「統合後の水道料金の検討」、「水道事業統合のための国への認可申請」に取り組み、水道事業の更なる経営改善に努めていきます。

【指標】

- ①固定資産及び水道資産の把握
- ②統合後の水道料金設定に向けての検討
- ③ 水道事業統合のための国への認可申請

2. 実績(成果)

- ① 固定資産及び水道資産の把握
 - 一部不明確な部分はあるものの、概ね完了しました。
- ② 統合後の水道料金設定に向けての検討 平成28年度に水道料金検討委員会を開催し、検討を進めることとしました。
- ③ 水道事業統合のための国への認可申請 平成28年度中に事業統合の認可手続きを行うこととしました。

3. 評 価 🗙

- ① 固定資産及び水道資産の把握 資産の把握は概ね完了しましたが、一部不明確な部分があるため、目標を達成することができませんでした。
- ② 統合後の水道料金設定に向けての検討 資産の把握が遅れたため、料金の検討段階に至ることができませんでした。
- ③ 水道事業統合のための国への認可申請 認可申請書の作成が遅れたため、県等との協議を行うことができませんでした。

4. 今後の展開

平成28年度において、以下のことに取り組み、経営統合に向けての作業を進めていきます。

- ①固定資産及び水道資産の把握
 - 早期に資産の全体把握ができるよう努めます。
- ② 統合後の水道料金設定に向けての検討 水道料金検討委員会を開催し、「水道料金のあり方」について検討します。
- ③ 水道事業統合のための国への認可申請 統合認可について、県等との協議を進め、早期に提出できるよう努めます。

全体	No. 4 4
個別	09-02

平成27年度 「水 道 局 (部)] 目標の成果

課 名 水 道 課

No. 項 目 水道料金の収納率向上

1. 組織目標

【内容】

経営の効率化と健全な事業運営を図るためには、水道料金の収納率向上は喫緊の課題であり、今年度も前年度に引き続き、新規滞納者の発生予防、納付確約(分納)の取り組み強化、給水停止の強化に取り組みます。

【指標】

収納率(現年度分)

- •対馬市水道事業 96.5% (前年度目標 96.3%)
- •対馬市簡易水道事業 98.5% (前年度目標 98.4%)

2. 実績(成果)

収納率

·W1—-						
		平成27年度	平成26年度	対前年度比		
対馬市水道事業	現年度分	95. 34%	95. 61%	△ 0. 27%		
	過年度分	55. 16%	62. 05%	△ 6. 89%		
	計	92. 80%	93. 80%	△ 0. 10%		
対馬市簡易水道事業	現年度分	98. 39%	98. 27%	0. 12%		
	過年度分	29. 25%	31. 64%	△ 2. 39%		
	計	95. 53%	94. 95%	0. 58%		

3. 評 価 🛆

滞納者に対し、定期的に督促及び催告を実施し、また、給水停止等の措置を講じましたが、水道事業については前年度を0.27%下回り、目標に1.16%到達することができませんでした。また、簡易水道事業については前年度を0.12%上回ることができましたが、目標に0.11%到達することができませんでした。

4. 今後の展開

今後も、滞納者に対しての督促、催告等の納付指導を継続して行い、また、長期(3ヶ月以上)の滞納者に対しては、給水停止の措置を強化し、納付意識の高揚に努めていきます。